

伊根の『舟屋』でゆったり過ごす

1日1組貸切の漁業体験型民宿

舟屋の宿 鍵屋

代表 鍵賢吾さん



鍵賢吾さん・美奈さんご夫婦

大好きな海のある故郷へUターン

伊根湾をぐるりと取り囲むように建ち並ぶ230軒余りの「舟屋」。その風景は壮観でどこか懐かしく、独特の詩情を漂わせています。丹後半島の東端、伊根町の貴重な地域資源がこの舟屋の家並み。舟屋とは1階が舟の格納庫、2階が生活の場として使われている伝統的な漁師の家屋のことです。

この舟屋を活かし、1日1組限定の漁業体験型民宿「舟屋の宿 鍵屋」をご夫婦で営むのが鍵賢吾さん。高校卒業までを伊根で過ごし、その後、京都市内の有名料亭やホテルなどで腕を磨いた料理人です。鍵屋開業までの約14年間、奥さんの実家がある茨城県日立市で飲食店を営業していましたが、平成20(2008)年3月に一家でUターン。「いつかは帰ろうと思ってたんです。やっぱり小さい頃から遊び回っていた、この景色と海が好きですからね。釣りもできるし」と笑う鍵さん。帰ってきた当初は、実家が所有していた舟屋と、料理の腕、趣味の釣りを生かして飲食店をやりたい、と考えていたといいます。



目の前に海が広がる舟屋の民宿

伊根の魅力が満喫できる舟屋民宿

鍵さんが、民宿を開業することになったのは、相談に行った伊根町商工会での話がきっかけになっています。全国的にも珍しい舟屋に、泊まりたいという問い合わせは多いのに、それを受け容れる宿泊施設が足りない。だから「君やってみないか」と言われたのだそう。舟屋民宿は最盛期には40軒ありましたが、後継者不足などで次々廃業、この時点では5～6軒にまで減少していました。それを聞いた鍵さんは、商工会の後押しもあって民宿の開業を決意。そして、宿泊客に海を満喫してもらえるよう、鍵さんの船で舟屋のガイドをしながらクルージングや釣りができる“漁業体験型”にすることにしました。「ただボーっと釣りをしたり、移り変わる景色を眺めたり、海を身近に感じながら都会の人に伊根ののんびりした時間を満喫してほしい。それにはゆっくり滞在してもらえる宿泊施設がいいと思っ

農林水産物の活用 観光資源の活用

たんです」。そこには民宿の営業によって高齢化が進む故郷を元気にしたい、という思いが込められています。

開業にあたってまず手がけたのは、舟屋の改修でした。舟屋は平成17(2005)年に重要伝統的建造物群に指定されており、梁の撤去や二階の嵩上げは不可。改修するにも屋根の形状をはじめ数々の制約があり、苦労も多かったとか。そんななかで最もこだわったのが、1階食堂の海に面した大きな窓。テーブルについた時の視線を考慮し、海・舟屋・空・山が一望できるベストポジションを切り取って窓にしたといいます。「ここに座っていると、船の行き交うのが見えたり、朝日や夕陽で水面がキラキラ光って、刻一刻と海の表情が変わるんです。一日中見ても飽きないですよ。この場所に陣取ってくれた先祖に感謝ですね」。



旬の魚介を最高のタイミングで提供

漁業の町ならではの“食”のもてなし

商工会の担当者より、地域資源を利用して行う事業を支援してくれるファンがあると聞いて応募、採択されました。助成金は主に、ガスグリラーをはじめとする厨房機器や電化製品を完備するのに活用。鍵さんは料理に使う魚をセリに出る前に伊根町漁協から買い付けます。「魚によっては少し寝かせたほうが身がやわらかくなって美味しいものもあるんです。漁業の町に来てもらったんだから、新鮮なだけじゃなく、最も美味しいタイミングで出すことが最高のおもてなしです」。導入したフリーザーや冷蔵庫は魚を扱う上で大いに力を発揮しています。

開業前に、関係者を招いて料理の試食会を開催。その際に出た「お客さんは、海の町だから食べきれないほど海の幸が出るというイメージを持ってやってくる」という意見を参考に、魚介は大皿を使って豪快にふんだんに盛り付けて出すことにしました。さらに民宿ではご飯の美味しさも大切と、地元農家から仕入れる特Aランクのコシヒカリを

釜で炊いて提供することに。こうして、この宿の大きな魅力の一つ“料理でのもてなし”の体制が整いました。



鍵さんの船でクルージングや釣りを楽しむ

鍵屋の開業で伊根のまちに活力が

平成21(2009)年3月「舟屋の宿 鍵屋」はオープン。宿泊料金は1泊2食付き1人あたり2万円(平日、2名で利用の場合)。コンセプトである“漁業体験型”のクルージングや浜からする簡単な釣りはオプションメニューとはせず、“サービス”という位置づけに。それは「時間やお金のことを忘れてゆったり過ごしてほしい」との思いからです。1日1組限定の貸切スタイルにしたのも、2組以上になれば、どちらかのお客様を待たせたり、気兼ねが生じてしまうため。

「自分の家みたいにくつろげた」という声に代表されるように、鍵屋は着実にファンを増やし、季節ごとに訪れるほどのリピーターも掴みました。平成22(2010)年9月には、鍵さんご夫婦がテレビ番組『人生の楽園』で紹介されたことも拍車をかけ、2ヶ月前から受け付けている予約はすぐ埋まってしまうほどの人気宿に。伊根への観光客が増えたことで営業を再開した民宿もあります。また鍵さんに誘発され、新たに舟屋民宿の開業を希望する人も。現在2名、開業準備中だといいます。

鍵屋の開業によって“伊根町の活性化”は着実に前進しています。「僕は地域の行事が最優先なんです。地域の人に支えてもらってるからね。それに高齢者も多いから若い人達が出来の限り頑張っていきたい」と。鍵さんの伊根への愛情が、地域の人々の協力の輪を結び付けているのでしょう。

事業概要

舟屋の宿 鍵屋

<http://www.ine-kagiya.net/>

代表：鍵 賢吾

業種：サービス業(簡易宿所)

創業：平成21(2009)年

住所：〒626-0424

京都府与謝郡伊根町字亀島 864

TEL：0772-32-0523 FAX：